

1) わが国の慢性透析療法の要約

日本透析医学会は1968年より年に一回全国の透析施設を対象に統計調査を行っています。2004年末の統計調査は全国の3,932施設を対象に実施され、3,882施設(回収率98.73%)から回答が寄せられました。これらの調査結果を集計した2004年末のわが国の透析療法の現況を報告します。今回の調査においては、新規項目として血清カルシウム、リン濃度、リン吸着薬の種類、投与量、副甲状腺ホルモンなどについて検討しました。

(1) わが国の慢性透析療法の要約 (図表1)

施設数		3,882施設	(165施設増	4.4%増)
設備	ペーシェントステーション	97,366台	(4,656台増	5.0%増)
能力	同時透析	96,540人	(4,615人増	5.0%増)
	最大収容能力	328,798人	(16,794人増	5.4%増)

慢性透析患者	248,166人	(10,456人増)
--------	----------	------------

※慢性透析患者の総数は、シート1患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

昼間	196,337人	(79.1%)
夜間	42,600人	(17.2%)
家庭血液	114人	(0.0%)
CAPD	8,774人	(3.5%)
IPD	352人	(0.1%)

導入患者数	35,084人	(1,118人増	3.3%増)
死亡患者数	22,715人	(1,043人増	4.8%増)

	男	女	不詳	計
5年未満透析患者数	75,431	44,650	78	120,159 (50.8%)
5年以上10年未満透析患者数	35,089	23,265	3	58,357 (24.7%)
10年以上15年未満透析患者数	15,936	11,800	2	27,738 (11.7%)
15年以上20年未満透析患者数	7,977	6,473	3	14,453 (6.1%)
20年以上25年未満透析患者数	4,999	4,035	0	9,034 (3.8%)
25年以上透析患者数	4,012	2,853	0	6,865 (2.9%)

※透析歴別患者数は調査シートII～IVの記入から算出

人口100万対比	1,943.5人 (80.8人増)
----------	-------------------

最長透析歴	37年3ヵ月
-------	--------

解説

わが国の慢性透析療法の現況

今回の調査により回答施設数は3,882施設となり前年度より165施設(4.4%)増加し、設備・能力もそれに伴って増加しています。患者数の増加に対処するための必然の結果であり、なお増加傾向が認められます。

ペーシェントステーションは97,366台であり、これは4,656台(5.0%)増しとなりました。この結果、同時透析は96,540人となり、4,615人(5.0%)増しとなり、最大収容能力は328,798人(16,794人、5.4%増加)となりました。